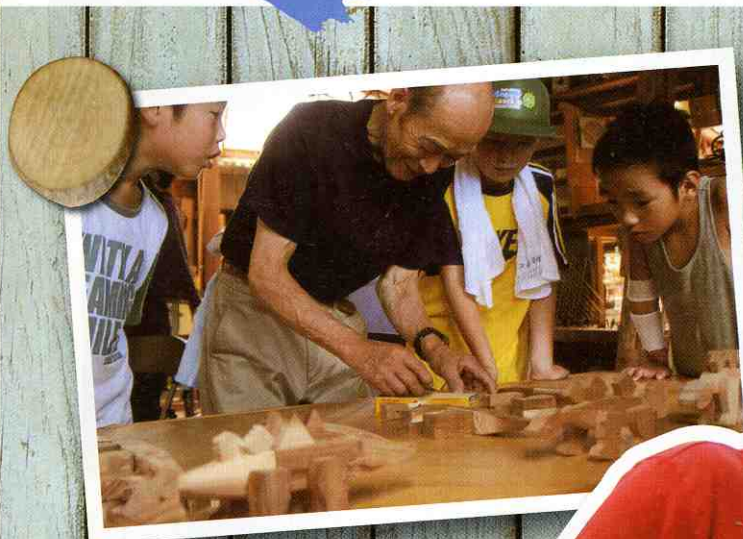


三重県立熊野古道センターからのてがみ

“The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center”

2010.夏号



森を感じて育てよう
みんなのエココロ♪

熊野古道センターでは、毎週日曜日にバリエーション豊かな木工教室を開催しています。題して「あなたも木工作家!その場でできる木工教室」です。

マイ箸づくりなどができる、『NPO法人海虹路』のひのきアート教室のほか、尾鷲ヒノキの端材を使っておもちゃや雑貨作りをしている『えびすや』の大形弥生さんの木工体験、川端一さんの木の動物づくり、『工房はたなか』の畑中昇さんによる尾鷲ヒノキの組み木遊びなどのエコな木工体験を、週代わりでお楽しみいただけます。

さて、よく耳にするエコという言葉ですが、具体的にどのような行動かをみなさん考えたことはありますか?大きく言うと、環境への負担を減らし、自然を保護することといったところでしょうか。この木工体験での材料は、すべて

尾鷲ヒノキの端材や自然素材!森の恵みをふんだんに利用することで、森林の大切さや尊さを実感することができます。エコってなんだろう?何ができるんだろう?と難しく考えてしまいがちですが、一人一人がこういったエコを感じる心『エココロ』を持つだけでも、エコ活動に繋がっていきますよね。地球に優しく接する気持ちはきっと、私たちや子どもたちの衣・食・住を豊かにしてくれるはずですよ。

たった1回で、『作って、感じて、考えて』楽しみながら様々なものを得ることができるこの木工教室は、事前申込みが不要なので、旅の思い出づくりだけでなく、休日のお昼下がりにも、お子さんとふらっと立ち寄って気軽にご参加いただけます。日曜日の午後は熊野古道センターに集合!!!!



森の恵で作ろう



大人気のマイ箸



先生が優しく指導してくれます。

こんなかわいい動物が作れます

動物以外にも色々な物を作ることができます!

各先生のスケジュールは、HPまたは電話でご確認ください。



熊野古道センター周辺の楽しみ方!!

熊野古道センター周辺の楽しみ方をご紹介します。

熊野古道センター前方に広がる『黒の浜』は尾鷲湾に面しており、潮干狩りも楽しめます! 干潮になると湾内に浮かぶ弁財島まで歩いて行けます。

後方には、みかん畑が広がっていて、そこからは尾鷲市内を一望できます。

隣の小川沿いを少し歩くと『村嶋不動滝』があります。小さな滝ですが水量が豊富で、傍には「不動明王」が奉られています。

周辺は自然がいっぱいで、耳を澄ませば小川のせせらぎや小鳥の鳴き声が聞こえる、癒しのスポットです。初夏の夜には、ホテルも観察できます。

隣にある『夢古道おわせ』では、海洋深層水のお風呂やお母ちゃんのランチバイキング、古民家カフェなどがあります。入口の朝採れ市場では、新鮮な無農薬野菜などが売られています。熊野古道を散策した後は、お風呂に入って、古民家カフェで海を見ながら休憩してはどうですか。

夏の訪れとともに熊野古道センター周辺をゆったり散策してみるのもいいですよ。



夢古道おわせ



海と山を眺めながら「ホッと一息」



みかん畑から尾鷲市内の夜景も楽しめる穴場です。



朝採れ市場

帰りにお土産や新鮮野菜買って帰ろう!



熊野古道センター



あなたもマイナスイオンを浴びてみませんか?



浜辺を歩きながら、波の音、潮の香り、絶景をお楽しみ下さい。



黒の浜

紀伊山地の霊場と参詣道「一万人の参詣道『環境保全』活動」

和歌山県世界遺産センターからのお知らせ

紀伊山地には、自然崇拜を起源とする神道の霊場「熊野三山」、中国から伝来した真言密教の霊場「高野山」、山岳信仰の聖地であり修験道の霊場である「吉野・大峯」という三つの霊場とそこに至る「参詣道」があります。

これら霊場と参詣道は、信仰の対象となるべき諸神、諸仏が千年の歴史を越え、今も人々の心の拠りどころとなっており、また、日本人の精神的な“ふるさと”とも呼べる場所でもあります。

現在、世界遺産は890箇所ありますが、信仰の道として登録されているものは、他にスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼路だけで、世界に2例しかない貴重な資産です。道の大部分は幅1メートル前後と狭く、石畳や階段となっている部分もありますが、多くは山中の土の道です。世界遺産の文化を育んだ紀伊山地は、年間を通して雨量が多く、台風などの災害にもたびたび見舞われる地域でもあり、道の傷みも確認されています。

「紀伊山地の霊場と参詣道」は、登録資産の総面積が約500ヘクタールと広範囲にわたり、特に参詣道の総延長は300キロメートル超に及びます。こうした条件の中で登録資産を大切に保全し次代に引き継いでいくためには、多くの人々の理解と協力により、継続性のある保全活動を展開していくことが重要です。

その本質的価値を再認識し、次世代に良好な状態で資産を承継するため、和歌山県では昨年引き続き「一万人の参詣道『環境保全』活動」を実施します。

参詣道の環境保全活動の趣旨に賛同する企業・団体・グループ等で、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録された和歌山県内の参詣道及び周辺地域において行う環境保全活動です。参加希望の方は、環境保全活動の実施前に所定の届出書に必要事項を記入し、提出してください。「一万人の参詣道環境保全活動」の対象となる環境保全活動と認められる場合には、届出受理書と参加記念品を送付します。



詳しくは、<http://www.sekaiisan-wakayama.jp/fifth/index.html> をご覧ください。

※環境保全活動の内容によっては、法や条例による許可が必要となる場合もありますので、世界遺産センターへご相談下さい。

宿屋に関する情報提供のお願い

当センターでは今年度末、熊野古道を歩く旅人を“迎えた人々”をテーマに、企画展「熊野古道のおもてなし(仮)」の開催を予定し、現在調査を進めております。つきましては、熊野古道周辺で営まれていた宿屋やそれに関わる資料についてご存じのことがありましたら、ぜひ熊野古道センター (TEL:0597-25-2666、担当:アガタ) まで情報をお寄せください。



熊野市木本で営業していた酒基

酒基で使用していた朱塗膳



